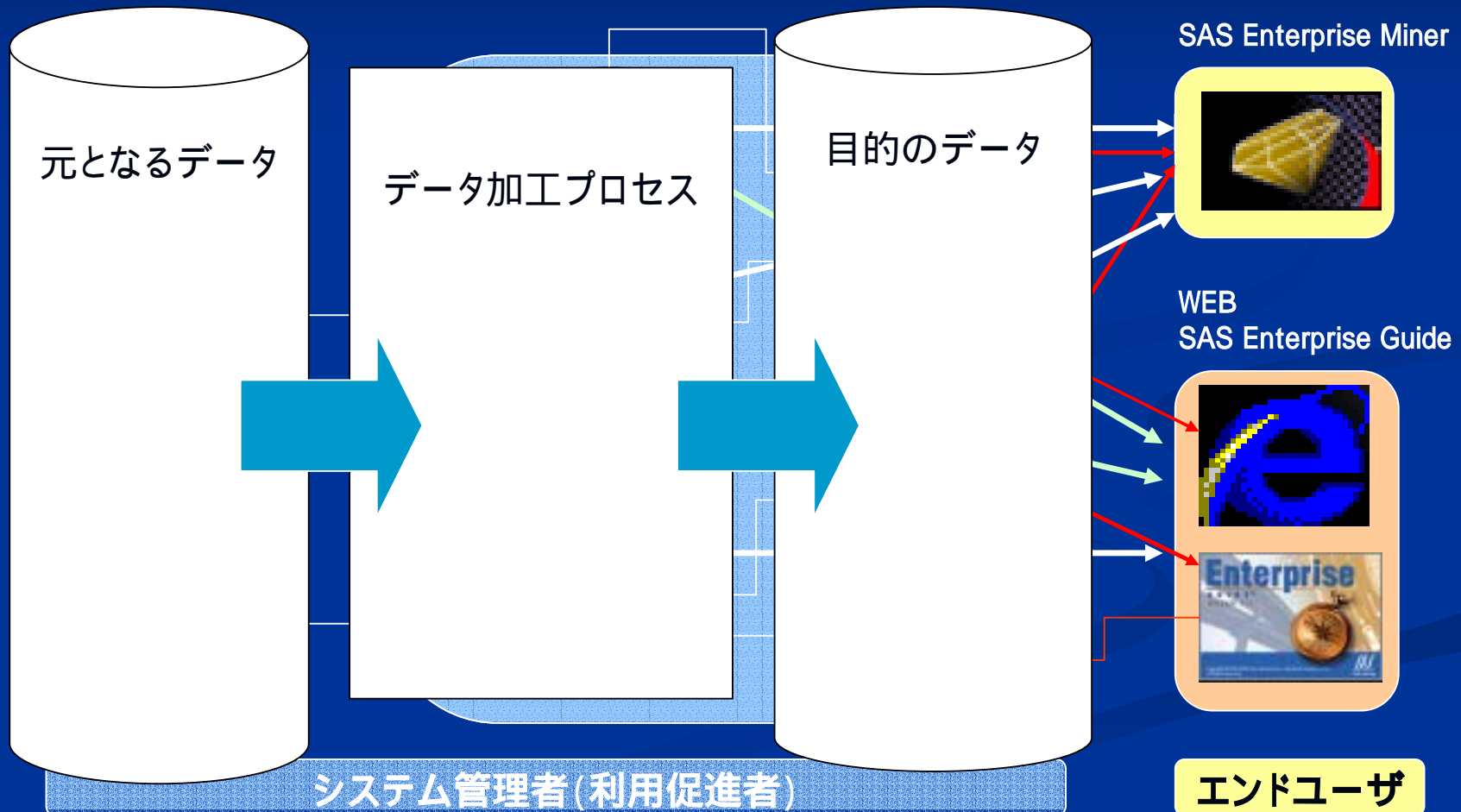


# 簡易 運用入門

SAS Institute Japan 株式会社

弘田 貴

# はじめに

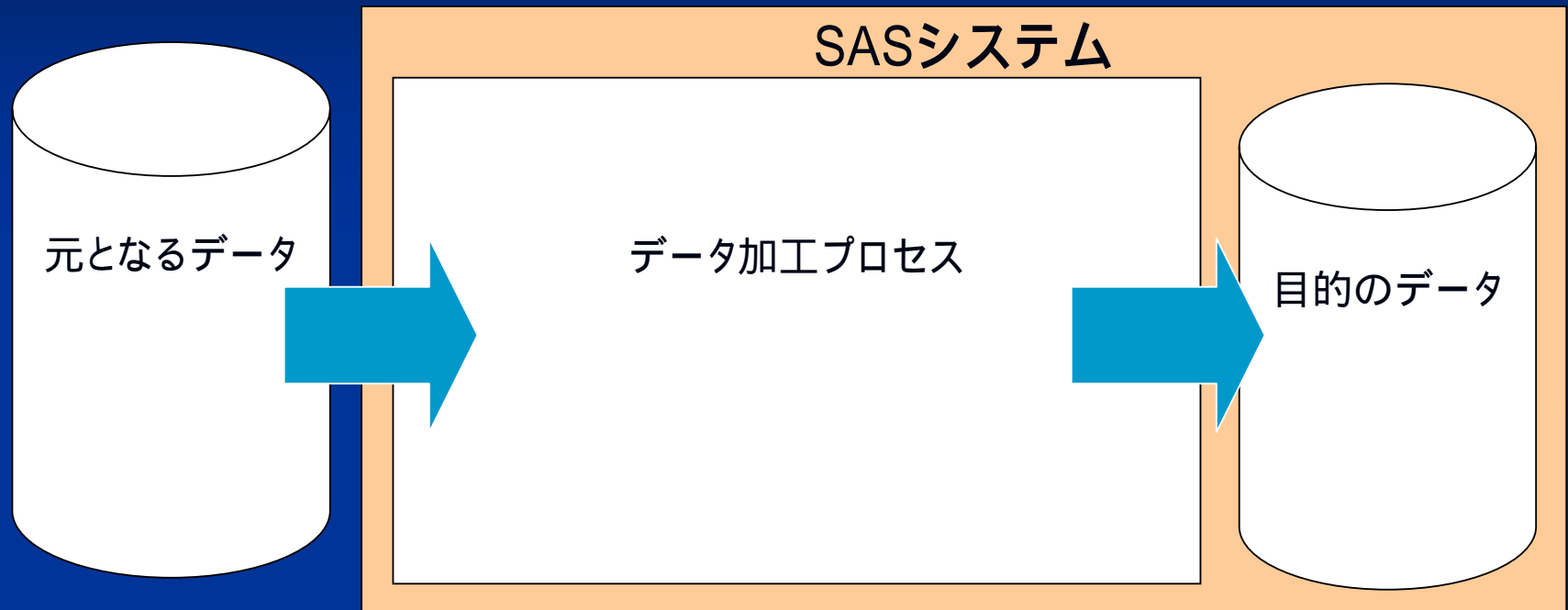


処理の流れを決める

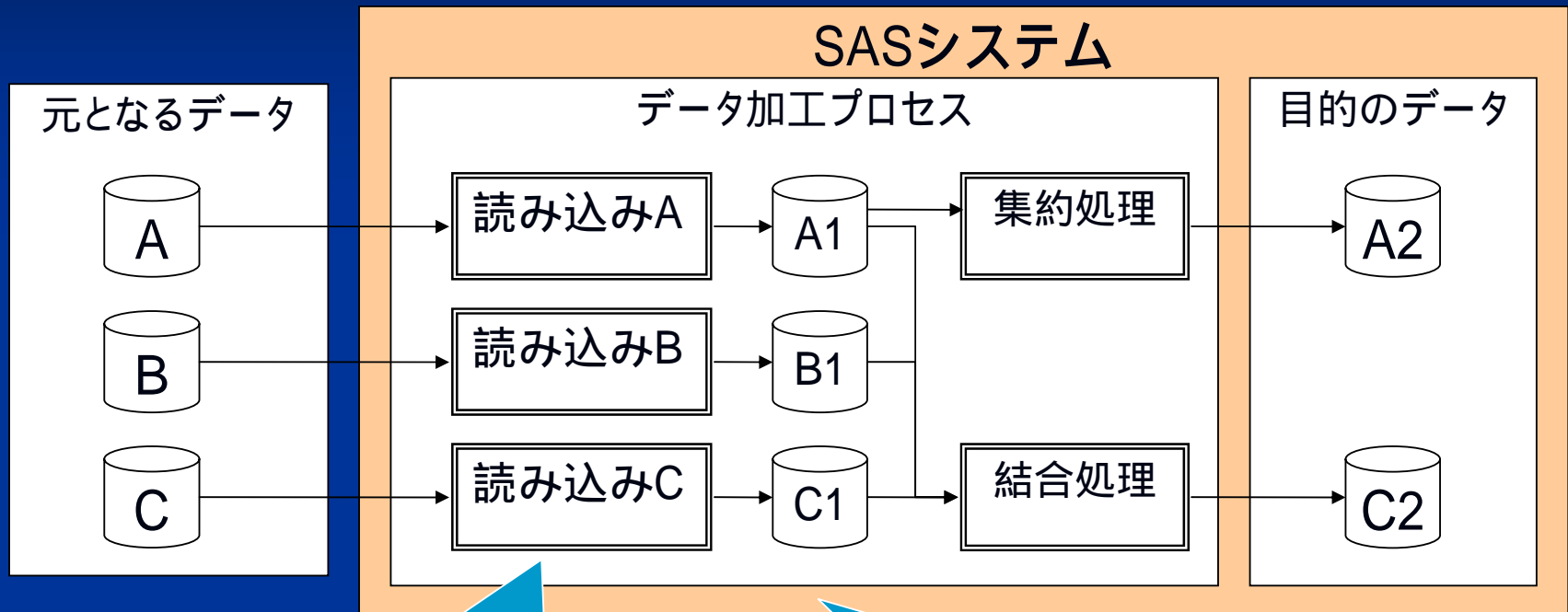
環境構築の為の準備

実装編

## 処理の流れを決める



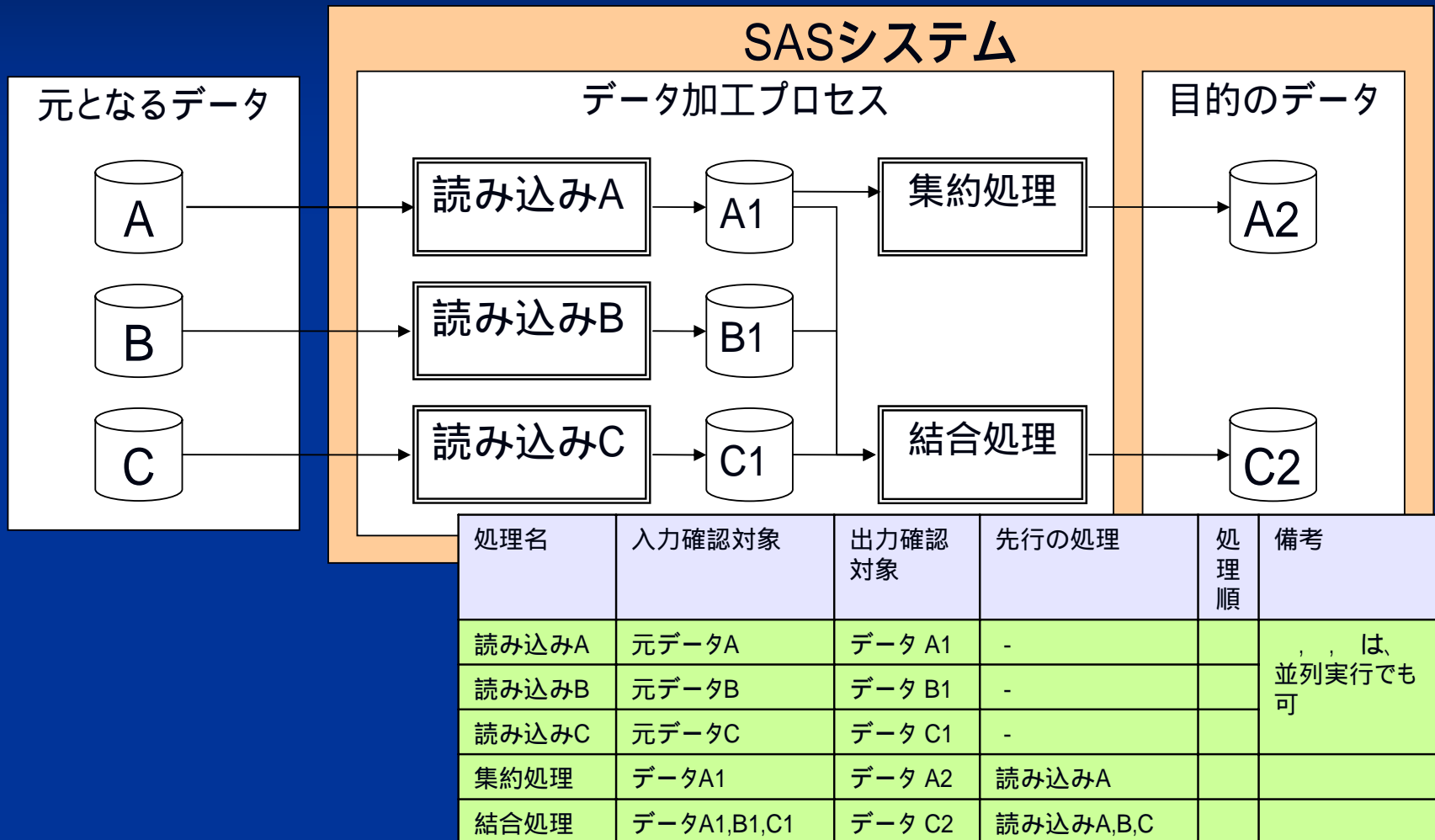
## 処理の流れを決める



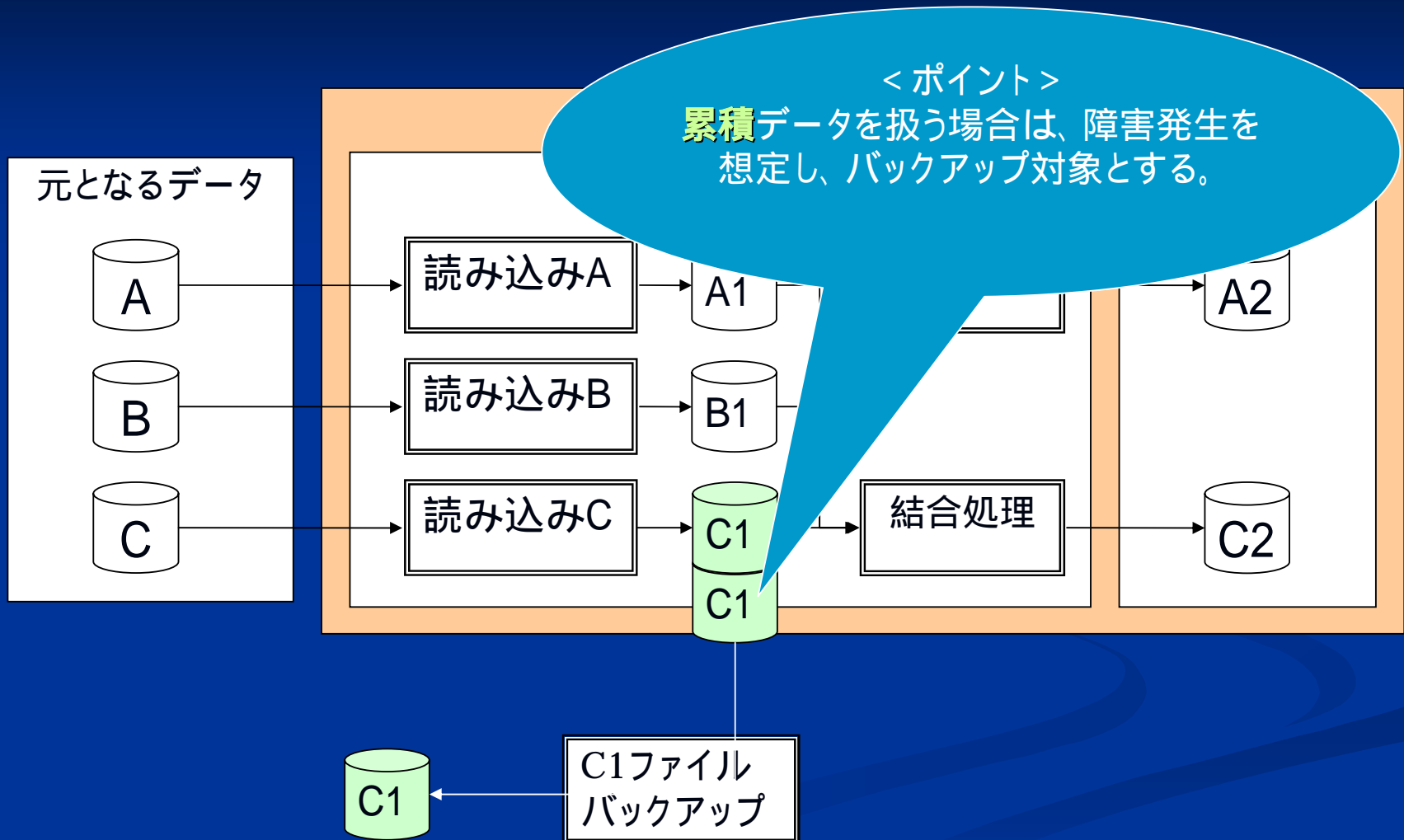
< ポイント >  
 ファイルの読み込み処理等は、  
 ファイル毎に、読み込み処理  
 を分割しておくが良い。

< ポイント >  
 処理確認が必要な単位に  
 処理ブロックを分割する。

## 処理の流れを決める



## 処理の流れを決める



## 環境構築の為の準備

- ・ ハードウェア環境
- ・ ソフトウェア環境



## 環境構築の為の準備

ハードウェア環境  
リソース一覧

<ポイント>  
使用する全てのファイル  
(中間ファイル含む)を洗  
い出し、記載する。

フォルダ/ ディレクトリ名	リソース 名	ファイル名	レコード長 (BYTE)	件数/日 (最大値)	容量 (MB)	保存 期間 (月)	想定容量 (MB) x1.5
C:\¥LOW	A(元)	A.txt					
C:\¥LOW	B(元)	B.csv					
C:\¥LOW	C(元)	C.DAT					
C:\¥SAS_TMP	A1(中間)	A1.sas7bdat					
C:\¥SAS_TMP	B1(中間)	B1.sas7bdat					
C:\¥SAS_TMP	C1(中間)	C1.sas7bdat					
C:\¥SAS_TEST1	A2	A2.sas7bdat					
C:\¥SAS_TEST2	C2	C2.sas7bdat					
C:\¥SASWORK							

<ポイント>  
想定容量は、任意係数(1.5)を  
掛けた値を予め確保する。  
ある程度の余裕を持つこと

## 環境構築の為の準備

- ハードウェア環境  
リソース一覧  
メモリ容量算出一覧

<ポイント>  
クライアント1台毎にメモリ  
確保が必要な場合、記載

常駐アプリケーション名	想定メモリ
WEBシステム(APサーバ用) 32MB×5(最大起動数)	160MB
SAS/SHAREソフトウェア サーバ稼動	32MB
SASシステム稼動用	832MB
小計	1024MB

<ポイント>  
SASシステム以外のソ  
フトウェアの想定メモリ  
も一緒に記載しておく  
と良い

## 環境構築の為の準備

- ・ ハードウェア環境  
リソース一覧  
メモリ容量算出一覧
- ・ ソフトウェア環境  
想定しうる全てのソフトウェアのバージョン、  
パッチ(SASシステム:HOTFIX)の一覧化

## 実装編

### < ポイント >

- log : SASログファイルを指定する。
- saswork : SASWORKを任意のフォルダに指定する。
- nosplash : SAS起動時にロゴウィンドウの表示を抑止

## ・ SASプログラムのバッチ処理

### Windows環境で実行する場合

c:¥sas¥bin¥ja¥sas.exe -sysin “読み込みA.sas”

-log “c:¥log¥読み込みA.log”

### < < バッチ処理の注意点 > >

バッチ処理実行後は、SASWORK配下のデータが自動消滅します。次の処理で使用する場合は、恒久ライブラリへの書き出しを忘れないで下さい。

## 実装編

### ・ 処理の実行

Microsoft-Dos バッチを作成する。

C:¥test.bat -----

```
c:¥sas¥nls¥ja¥sas.exe -sysin “読み込みA.sas” log “c:¥log¥読み込みA.log”  
c:¥sas¥nls¥ja¥sas.exe -sysin “読み込みB.sas” log “c:¥log¥読み込みB.log”  
c:¥sas¥nls¥ja¥sas.exe -sysin “読み込みC.sas” log “c:¥log¥読み込みC.log”  
c:¥sas¥nls¥ja¥sas.exe -sysin “集計.sas” log “c:¥log¥集計.log”  
c:¥sas¥nls¥ja¥sas.exe -sysin “結合.sas” log “c:¥log¥結合.log”
```

処理の実行

C:¥> c:¥test.bat

## 実装編

- 処理の実行  
Windowsのショートカットを使う



## 実装編

- ・ 処理の実行  
Microsoft-DOS バッチプログラムを作成し、スケジューラ  
ソフトに登録する。

```
WindowsNT:Microsoft-DOSプログラムサンプル
TEST_A.bat -----
@echo off
```

```
Rem 共通定義 -----
set SASEXE=c:\Program Files\sas\nls\ja\sas.exe
set SASWORK=c:\saswork
set SASLOG=c:\test\log\test_a.log
```

```
Rem 定義 -----
set SASPGM=C:\TEST\READ_A.sas
set INFILE=C:\LOW\A.txt
set OUTFILE=C:\SAS_TMP\A1.sas7bdat
```

```
Rem 入力ファイルチェック -----
if not exist %INFILE% goto INFILE_ERROR
```

```
Rem SASプログラム実行チェック -----
start /w %SASEXE% -sysin "%SASPGM%" -work
"%SASWORK%" -log "%SASLOG%" -icon -nosplash
findstr /B "ERROR" "%SASLOG%" > nul
if not errorlevel 1 goto SASERR
find "_ERROR_=1" "%SASLOG%" > nul
if not errorlevel 1 goto SASERR
```

```
Rem 出力ファイルチェック -----
if not exist %OUTFILE% goto OUTFILE_ERROR
goto NORMAL
```

```
Rem エラー処理 -----
```

```
:INFILE_ERROR
echo INPUT FILE NOT FOUND: %INFILE%
goto ERROR
:SASERR
echo SAS BATCH NG: %SASPGM%
goto ERROR
:OUTFILE_ERROR
echo OUTPUT FILE NOT FOUND: %OUTFILE%
goto ERROR
:ERROR
echo ERROR END
goto END
:NORMAL
echo NORMAL END
:END
echo ** End of TEST_A.bat **
```